

今月の「未来へつなぐ」では、“道の駅でのイベントの様子”と“あびら復興感謝フェス”について書いてもらっています。

## 13日間“完売御礼！”道の駅オープニングイベント「いぶり美食祭」

4月19日(金)、震災の影響で完成が遅れていた「道の駅あびら D51 ステーション」がついにオープンし、4月19日～21日の3日間と4月27日～5月6日のGW10日間の計13日間でオープニングイベント『いぶり美食祭(グルメフェスタ)』が開催されました。

その中で、復興ボラセンがイベントブースを出店し、このイベント限定で「あびチキロール」「あびチキボール」を販売。イベント期間中、復興ボラセンブースを支えてくれたのは、今までも大変お世話になっている「復興ボランティア」の方々。復興ボラセンのメンバーは道の駅オープンの手伝いも行いブースに行けないうち、ブースを支えてくれたのは、毎日来てくれたボランティアの皆さんでした。日差しの強い日や雨、風が強くて肌寒い日もありましたが、復興ボラセンブースではイベント期間中の“13日間全ての日程”で販売していた商品を完売することができ、無事に道の駅オープニングイベント「いぶり美食祭」を最後まで走りきることができました。

今後、道の駅を拠点に様々なイベントが開催されると思いますが、安平町の新しい復興のシンボルとして、道内に限らず全国から遊びに来る人が増える場所になってほしいと思います。



GW中活動していただいたボランティアさん方と

## 町民からボランティアへ。「あびら復興感謝フェス！」開催！

5月18日(日)道の駅あびら D51 ステーションにて「あびら復興感謝フェス！」が開催されました。

9月6日に発生した「北海道胆振東部地震」で被災した安平町は、全国から約2600人の方が災害ボランティアに登録し、復旧活動に取り組んでいただきました。あびら復興感謝フェスはそんなボランティアの方々に『感謝の気持ちを伝えたい!』という町民の声を聞き、町民とあびら復興加速実行委員会が協力し合い、開催することができたイベントです。



及川町長と井内センター長の復興特別対談「震災から未来へ。」

この中で復興ボラセンはイベントの企画、準備、運営、情報発信など、イベント全般を担当。事前に災害ボランティア登録者には感謝フェスの「招待状」を1人1人に郵送し、イベント参加を呼びかけた結果、当日イベントに来ていただいたボランティアさんは“146名”！ イベントコンテンツの「町民からのおもてなしブース」『安平町内の飲食店にて「復興感謝サービス」の提供』『及川町長と井内センター長の復興特別対談』、元あびら未来塾塾長河嶋愛基による「勉強しない学び舎～from あびらぼ～」等を通じてお世話になった方々に感謝の気持ちを伝えると共に、「今」の安平町の取り組みを紹介しました。

イベントに参加したボランティアの方から「このイベントに来て活動時のことを思い出しました。復興に向けていろんな角度から面白いことがどんどん始まっている。これからの安平がすごく楽しみです！」という声を聞くことができ、今回のイベントに来てもらった方々に自分たちのメッセージが伝わり、開催して本当に良かったと思います。ご協力、ご参加いただいた方、本当にありがとうございました！



“あびらぼ”による探求授業テーマ「冒険」

(一社) 安平町復興ボランティアセンター

TEL: 070-3139-0374

MAIL: abira.fukkouborasen@gmail.com



復興ボランティア  
募集!



今、安平を変える時。

記事提供  
編集・校正

安平町復興ボランティアセンター  
安平町役場総務課情報グループ